

# 令和元年度東北がんネットワーク化学療法専門委員会

## 事業計画 進捗状況

### 1) 委員会の開催

令和元年度化学療法専門委員会を令和2年1月中に開催する予定。なお、委員会は東北臨床腫瘍研究会が開催しているT-COREカレッジとの同時開催をする方向で検討している。

#### 1について

**委員会については、T-COREカレッジと同時開催で令和2年2月8日(土)14:15よりTKPガーデンシティ仙台勾当台にて開催した。**

**※会議次第は別紙のとおり**

### 2) 標準プロトコールの活性化・Tumor Boardの発展的展開

東北臨床腫瘍研究会内に、医師・薬剤師・看護師で構成されるワーキンググループを発足させるため、その人選等を進め年度内の発足を目指しているが、ワーキンググループにおいては掲載中のプロトコールのチェック、新規療法の採用検討を行い随時現状に即して最新のレジメンを取り込んでいけるようにOn Timeでの対応を可能にしていく方策を探る。Tumor Boardについては、これまでの症例検討の場としての機能から今後大きな流れとなるがんゲノム医療に特化していき、遺伝子パネル検査適応症例相談メール会議システム等への発展的展開を目指す。これに伴い、日進月歩の医療環境に対応したプロトコール等の在り方についての大枠と指針を検討するためのコアメンバーによる会議を年内に開催する予定である。

#### 2について

**標準プロトコールの活性化については、令和2年3月7日(土)仙台市内において、ワーキンググループのキックオフミーティングを開催する予定。Tumor Boardについては、現在がんゲノム医療との係わり付けの構築方策を検討中。**

### 3) 宮城県 がんゲノム医療従事者連携養成事業(がん対策に係る医療従事者養成研修事業)への協力

がんゲノム医療のスタートとなる遺伝子パネル検査の保険適応を受け、宮城県においては東北大学病院、宮城県医師会とともに表記の事業をスタートさせることになっている。化学療法専門委員会においてもがんゲノム医療への取り組みはファーストプライオリティと位置づけるものであり、同事業への協力を図り、東北地方全体に広がりを持たせる方策を探っていく。

### 3について

宮城県がんゲノム医療従事者養成研修会は12月までに4回（仙台会場2回、石巻会場1回、大崎会場1回）開催された。延べ265名の参加があり、東北がんネットワーク関係者の宮城県以外の方々もオブザーバーとして参加いただいている。

### 4) 令和元年度化学療法専門委員会事業費計画（支出先 東北臨床腫瘍研究会）

・症例検討システム／プロトコール申請審査システム運営管理費

@ 1ヵ月 18,360円×12ヵ月=220,320円

・専門委員会・T-COREカレッジ開催等経費 100,000円

合計 320,320円

### 4について

精算済

